

京都大学瀬戸臨海実験所振興会

水族館月報

N O. 121

1962. 9月 (10月10日)

録 事

9月1日 南海岸の海水取水口修理(砂利掃除、グリ石つめかえ)を行なった。

13日 水族館玄関屋根並びに入口の小修理を行なう。

18日 取組旅行本年度は、飛行機試乗と、京阪神視察を目的として行なわれ
第1班10名は本日東白浜港より出発、20日夕刻帰着

22日 深見事務主任は、23日より26日まで、東京上野文化会館において
開催の全国博物館大会に参加のため本日出発、27日帰着

25日 取組旅行第2班9名本日出発、27日帰着

業 務 概 況

◎ 9月の入場者数

区 分		大 人	中 人	小 人	合 計
水族館発売	個人	5994	32	327	6,353
	団体	10268	—	—	10,268
交通公社発売		3897	—	—	3,897
近畿日本発売		795	—	—	795
日本旅行会発売		50	—	—	50
明光バス発売		12825	—	176	13,001
合 計		33829	32	503	34,364
景 計		346,377	1,181	14,126	362,084
無 料		旅館従業員他			64
					563

団 体 : 一般 152組 学生 6組 合計 158組

◎ 9月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金	1,506,188	10,338,502
窓口発売	456,755	4,538,338
交通公社クーポン	104,401	1,005,000
近畿日本ツーリストクーポン	20,722	67,446
日本旅行会クーポン	1,350	21,968
明光バス観光券	922,960	4,655,750 ※
予金、積立金利子	59,104	59,824
手数料	64,217	308,384
絵はがき払下	11,020	408,220
パンフレット払下	840	57,390
南極生物報告払下	—	1,830
魚類払下	—	20,400
雑収入	1,675	25,195
諸施設改善積立金より繰入	—	4,542,400
災害資金より繰入	168,760	168,760
合 計	1,811,804	15,930,905

※ 明光バス観光券未収分

大人券 17,025 枚

小人券 680 枚

(64)

水族館経費

費目	金額	累計	備 考
人件費	224,066	1,698,392	深見事務主任博物館大会出席旅費
会議費	—	81,855	
備品費	—	769,045	
消耗費	12,895	875,127	
事業費	70,659	553,953	
維持費	22,200	630,961	
その他諸経費	248,519	1,046,526	秋の職員旅行他
積立金	171,362	1,914,392	
予備費	—	—	
合計	749,701	7,570,251	

実験所経費

費目	金額	累計	備 考
研究費	—	48,350	
奨学金	10,000	60,000	
備品費	—	2,650	
消耗費	—	—	
刊行費	—	307,900	
役務費	—	847,716	
合計	10,000	1,266,616	

博物館経費

費目	金額	累計	備 考
人件費	—	32,160	
備品費	—	—	
消耗費	—	—	
役務費	—	—	
合計	—	32,160	

臨時費

	金額	累計
第2室尹台風火害復旧	168,760	4,716,820
(博物館屋根葺き)		
合計		4,716,820

支出合計		(今年度累計)
水族館経費	749,701	7,570,251
実験所経費	10,000	1,266,616
博物館経費	—	32,160
臨時費	168,760	4,716,820
合 計	928,461	13,585,847

◎ 9月末現在高

前月よりの繰越	1,461,715
今月の収入合計	1,811,804
今月の支出合計	928,461
現 在 高	2,345,058

◎ 前年度との比較

	1961	1962	増 減
入 場 者 数	27988	34364	+ 6376

水族館記事

- ◎ 2日 8月1日付で、当館も日本動物園水族館協会に加入したので、同協会へ月報の資料を提出することになり、8月分を発送した。報告内容は、ニュース・トピックス、収容動物（月末現在の種類数、個体数）入館者数、水質調査等である。
- ◎ 4日 H水槽のフィルターを再セットし、ついでにJ・K水槽の流砂を補充した。これで長期にわたった新館各水槽の浸水止め工事はひとまず終り、作業室を清掃した。その後月末までに、なお、H・I・K水槽に若干の浸水がみられたが完全に止まっている日もあるので、当分様子を見ることにした。
- ◎ 7日 H水槽へ、ウミガメ類・サメ類を収容し展示を再開。これに伴ない、F・K水槽も模様替した。
- ◎ 同日辻本熱帯魚店より、クダタツ7個体が入槽。E（タツノオトシゴ）水槽は騒やかになった。また、網不知の漁師真鍋氏よりソウシハギ1個体を受贈。B水槽へ収容した。
- ◎ 11日 45節2本足のナイロン網で捲網を作ったところ、予想通り成績が良く、今後珍魚採集に威力を発揮するものと思われる。
- ◎ 14日 ポンプ室地下のマンホールの水底にたまった砂を潜水作業により取り除き海水汲み上げポンプの事故を予防した。
- ◎ 16日 塔島東側でツバメウオ（20 cm）1個体を採集、A水槽に収容した。同時に捕えたアオヤガラは残念ながら翌17日に死亡した。
- ◎ 22日 G水槽のタカアシガニ1個体が死亡。この個体は以前から餌付けが悪かったもので、歩脚は殆んど肉がなかつた。
- ◎ 23日 H水槽に芳養の地曳網でとれたマアジ約1500個体を収容、壮観
同日、待望のツノダシ1個体を塔島で採集、F水槽へ収容した。
- ◎ 25日 網不知湾奥の浅瀬でコンゴウフグ1個体を採集、E水槽へ収容した。
- ◎ 30日 R1予備水槽に仕切りを設け、南水槽室からの排水は左側部分にだけ入るように改めた。右側部分には給水弁2個を新設して、新鮮な海水が多量に給水できるようになり、今後、新着魚類の健康管理が向上するものと期待される。
- ◎ 夏中悩まされ続けた白点病は、塩酸キノール療法の影響により、どうにか抑

られるようになり、今月に入ってから、魚類の補充も順調に進んだので、新館も面目をとりもどした。まだ水温が高いので(24℃)油断すると再発のおそれがあるが病原虫が活動を停止する12月まで、この夏のような大被害はあるまいとの見通しである。なお、塩酸キニーネ浴以外の治療法も二・三、テストしている。

◎ 9月の採集作業

日 時	採集場所	方 法	人 員	主 な 目 的
3日午後	塔島かなとこ向	潜 水	3名	クマノミ
5日 〃	庵海波止場	碇 釣	2名	フグ類
7日夕方	江津良浜	投 釣	1〃	コバンアザ
11日午前	東白浜-江津良	碇採集	3〃	幼魚類
12日午後	塔 島	碇 釣	3〃	ブダイ、ペラ類
13日 〃	塔 島	碇釣り及びダイブル	2〃	ギンユゴイ
14日 〃	塔 島	潜 水		クマノミ、オヒメエビ
16日 〃	塔 島	潜水及び碇釣り	4〃	ケウクウウオ類、ペラ類
20日午後	島島西側	船 釣	2〃	砂地の魚類
24日午前	取入口附近	碇 釣	1〃	フエダイ幼魚
30日午前	円月島の碇	碇 釣	1〃	ネンブツダイ類

◎ 主な採集水族名

魚 類 : ヨウジウオの一種 アオヤガラ ギンガメアジ コバンアジ オオスジイシモナ
ヒトスジイシモナ ヨスジフエダイ フエダイの一種 キダイ クロサギ オキゴンベ
コウライトラギス クマノミ ミツボシクロスズメ クロスズメダイ オハグロペラ
ホンノメワケペラ コガシラペラ ブダイ ツバメウオ ツノダシ タスキエンガラ
ウマズラハギ シマウミスズメ

無脊椎動物 : アカヤギ イソバナ オヒメエビ キンセンガニ タツナミガイ
アマクサウミウシ コイボウミウシ オオウミシダ ハナウミシダ (Comanthina
Schlegeli) オキノテズルモズル テツイロナマコ

○ 7月号に記載したスズメダイの一種は、Abudefduf biocellatus
 (Quoy et GAIMARD) と判つた。No 23-5水槽で生存中
 (68)

◎ 主な輸入水族名

ウミガメ類：アオウミガメ（甲長約50cm）1、アカウミガメ 幼仔 50

魚類：シロサメ コモンサカタザメ オキエリ ゴテンアナゴ ホタテウミハジ
ウツボ ワカウツボ タケウツボ クダタツ ダツ イットウダイ アアシ
オキナヒメジ キハツソク アカハタ キス キゲヌ ヨコスゲフエダイ
メイケダイ イサキ コトビキ メガネウオ トラギス イラ ソウシハギ
ホシフダ コバンザメ

無脊椎動物：シマイシガニ アミノコギリガサミ イタヤガ~~ホ~~ バイ ツメタガイ
テングニシ カズラガイ

◎ 今月30日現在飼育中の動物は、総計296種、5210個体以上で、その内訳は次の通り、このうち観覧水槽に収容展示中の動物は、292種、5140個体以上。

カイメン類	1種	多毛類	3種	タコ類	1種
ヒドロ虫類	1種	カブトガニ類	1種	ウミシダ類	3種
ウミトサカ類	2種	フジツボカマテ類	1種	ヒトデ類	5種
ヤギ類	7種	エビ類	12種	クモヒトデ類	3種
ウミエラ類	1種	ヤドカリ類	5種	ウニ類	11種
イソギンチャク類	10種	カニ類	17種	ナマコ類	7種
イシサンゴ類	9種	アメフラシ類	4種	ホヤ類	5種
ツノサンゴ類	1種	ニ枚貝類	10種	軟骨魚類	8種
ハナギンチャク類	1種	巻貝類	19種	硬骨魚類	144種
ホウキムシ類	1種			カメ類	3種

資 料

◎ 9月の気象 (09 晴観測)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数:19	6	7	6
室 温 (C°)	$\frac{26.2 \sim 28.4}{27.1}$	$\frac{25.0 \sim 27.2}{26.4}$	$\frac{21.0 \sim 26.0}{24.1}$
水 温 (C°)	$\frac{26.48 \sim 27.42}{26.90}$	$\frac{24.20 \sim 26.20}{25.36}$	$\frac{21.46 \sim 25.80}{24.39}$
比 重 (25)	$\frac{23.99 \sim 24.26}{24.11}$	$\frac{23.65 \sim 24.57}{23.99}$	$\frac{23.98 \sim 24.64}{24.32}$

新 館 (水温)

上水 温 (C°)	$\frac{26.3 \sim 27.3}{26.8}$	$\frac{24.8 \sim 26.3}{25.9}$	$\frac{21.4 \sim 26.6}{24.8}$
下水 温 (C°)	$\frac{26.5 \sim 27.4}{27.2}$	$\frac{25.0 \sim 26.5}{26.1}$	$\frac{21.4 \sim 25.8}{24.6}$

取 入 口

水 温 ($\frac{26.22 \sim 27.60}{27.01}$	$\frac{25.24 \sim 26.62}{26.12}$	$\frac{21.46 \sim 25.62}{24.51}$
比 重	$\frac{23.85 \sim 24.20}{24.01}$	$\frac{22.23 \sim 24.40}{23.75}$	$\frac{24.05 \sim 24.81}{24.42}$

来 訪 録

- 9月11日 神戸海洋気象台長視察のため来館。
9月20日 岡山県水産試験場総務課長難波忠義氏・岡山県主事華谷口衛氏視察のため来館。
9月30日 鳴門自然水族館々長中道隆吉氏東京伝物館大会の帰途視察のため来館。

昭和37年10月10日(No. 121)

編集
発行所

宮地 伝三郎

発行所

瀬戸海実験所振興会
和可山県白灰町
瀬戸海実験所内
(Tel. 白灰温泉 515)